

町民から頼られる
存在なのは
なんでもチャレンジ
する前向きさから。



おやまだ むつみ
小山田 睦美さん(20代)

<三島町>

団体職員(事務)
(就業)

2017年 Iターン

農業をきっかけに三島町へIターン

『三島町の宮下地区は、小さいながら病院、信用金庫、JA、商工会などが揃う町の中心部です。町外れには道の駅があり、その近くの高台から見るJR只見線は撮影ポイントとして人気があります。その風景を見たくてインバウンドの観光客も訪れるため、町なかを海外の人が歩いていることがしばしばあります。』

そんな三島町に秋田県から移住して6年目の小山田さん。現在のお仕事以外にもいろいろと町内の仕事に関わってきた経験があるそうで、そもそもの移住のきっかけから町での仕事、町民との関わり方、三島町の魅力などを仕事場にお伺いして取材しました。』

取材日 2023年1月17日

三島町への移住のきっかけと仕事

<移住のきっかけ>

最初のきっかけは就職活動が終わってからです。私は小学生の時から「農業をやりたい!」と思っていたのですが、秋田県の短大で就活して内定になった会社は全く畑違いのところでした。卒業が近づくにつれてずっと思い続けてきた農業の仕事を諦めていいの、と思うようになり、思い切って卒業間近の1月に「農業法人フェア」に参加しました。そこで出会ったのが三島町です。これはご縁だと思います。そのままの勢いで2月に三島町に来て、役場の方に面接をしてもらい採用になりました。3月末には引っ越してきましたので、勢いって大事ですね(笑)若いからできた勢いだと思いますが、結果は良かったと思っています。

<三島町での仕事>

今は医療関係の事務をしていますが、三島町に来た当初は地域おこし協力隊として興味があった農業法人で働き、田んぼの保安全管理や野菜作りに従事していました。協力隊の他にも町の特産品である桐の栽培の手伝いや土木関係、運輸関係の事務、そして今の仕事も、ありがたいことに町の人から紹介をもらい様々な業種を経験しました。三島町に来てからいろんな方に助けてもらいましたので、少しでも恩返しが出来たら、と思い今も町での仕事を続けています。

今ですが、医療系の事務は初めてなので専門用語も多



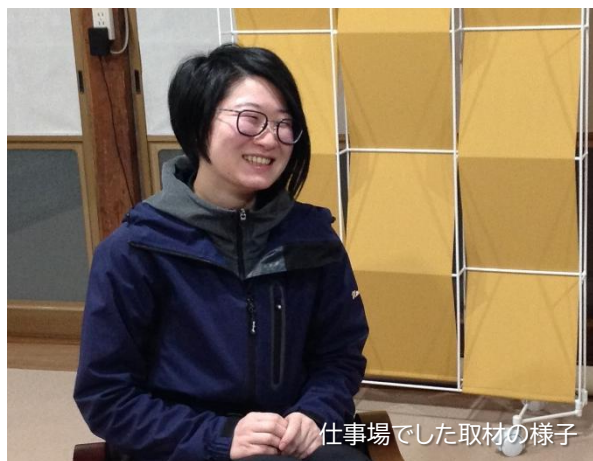
く、覚えることもたくさんあり毎日が大変です。それでも少しずつ分かることが増えると楽しいですね。まだ若い仕事場なのでマニュアルもなく、みんなの手探りしながらの部分もありますが、それも力を合わせている感じがしてやりがいがあります。

知り合いが増えてくるとどこへ行っても誰かしらつながっていたりするので少し安心して働けている気がします。

<三島町の暮らし>

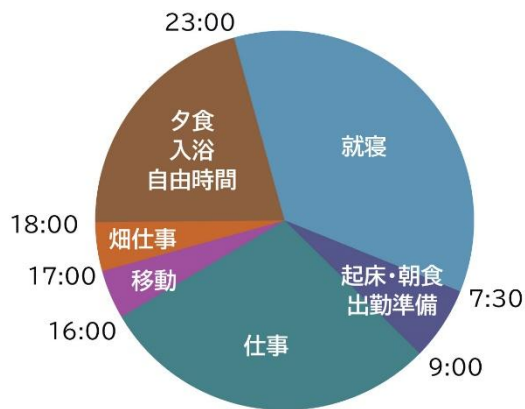
三島町の町営住宅に住んでいるのですが、ここは移住してきた人も毎年出入りがあるので、お互いに町の暮らし方や生活情報など交換がしやすい環境です。

三島町に来たきっかけである農業ですが、ご縁があり、町の人から畑を貸していただき、今も続けています。その畑のご近所にいるおじいちゃんがすごく面倒見が良くて、土日には電話で畑の状況を連絡してくれたり、おじいちゃんの監督の元、同じく移住してきた友達と一緒に広い畑にたくさんの種類の野菜を育てました。



仕事場でした取材の様子

ある一日のスケジュール



このおじいちゃんですが元々キャラが濃くて有名人だったので畑の場所を伝えると必ず「いい師匠がついてるな！」と周囲の人に言われましたね。そのおじいちゃんが去年亡くなってしまい、今までアレコレと丁寧に教えてくれたから収穫までちゃんと出来ていたことに改めて気付かされました。自分の実の祖父よりも一緒に過ごした気がします。

他にも町で知り合いにすれ違おうと挨拶だけでなく「元気か？」と声をかけてくれたり、玄関にいつの間にか野菜が置かれていたり町の人に面倒を見てもらっている、気にかけてもらっている、という感じが多々ありますね。そういう意味では人との距離感が近いので、こういうのを「見られてる」と思う人は田舎暮らしには向かないんだろうなと思います。

<三島町の魅力>

三島町は電車のガタンゴトンという音が遠くまで響くほど静かです。只見線の撮影ポイントは町の自慢ですし、どの時期でも風景がキレイで国内外から写真を撮りに来る理由が分かります。また、家から一歩外に出ただけでも星がすごくキレイに見えるので高台に行かずとも天体観測ができます。

自然環境だけでなく町にはモノづくりをしている人が多くいて、素敵な作品を目にする機会がたくさんあります。モノづくりのイベントもあるので、毎年楽しみにしています。

小山田さんの行動歴

秋田県生まれ ⇒ 三島町へ

移住を検討している方にアドバイス

車がないと生活が大変です。近くのコンビニまで車で約15分です。



古民家を活用した仕事場にて

現住人口 1,382人 男性/690人 女性/692人

面積 90.81平方キロメートル

標高 海拔 250.3m(三島町役場)

最寄駅 JR只見線「会津宮下駅」

最寄IC 磐越自動車道「会津坂下IC」

保・幼・こ 認可保育所 1か所

小学校数 公立 1校

中学校数 公立 1校

高校数 なし(周辺市町にあり)

病院数 病院 1か所

町の特徴

三島町は西部に位置し、尾瀬を源流とする只見川沿いにある山間の町で、古くから桐の産地としても有名である。三島町では、暮らしに必要な道具を身近な素材を使って自分たちの手で作る「ものづくり＝生活工芸文化」が色濃く残っている。縄文時代より脈々と受け継がれているものづくり文化を身近に感じられる暮らしが三島町の魅力である。

移住 サポート 窓口

三島町役場(地域政策課)
三島町理想の雪国の暮らしを実現！三島町への移住を考えてみませんか？
<http://www.town.mishima.fukushima.jp>
電話:0241-48-5533
メール: seisaku@town.mishima.fukushima.jp

